

覚せい剤依存症の臨床研究にご協力ください

☆覚せい剤依存症の治療薬とバイオマーカーを開発することで、
依存症を根本的に治療する新しい治療法の確立を目指します！

*** 守秘義務を厳守することをお約束いたします ***

覚せい剤依存症とは、覚せい剤のほしさを
コントロールするのが難しい病気です。

➤ 研究参加期間と薬の服用

3ヶ月の服薬期間と服薬終了後3ヶ月の、計6ヶ月です。

3ヶ月の服薬期間中は毎日お薬を服用します。

お薬の有効性を評価する研究なので、プラセボ（有効成分を含まない薬）
を服用するグループに振り分けられることもあります。

患者様ご自身でグループを選ぶことはできません。

➤ ご参加いただける方

- 1) 国立精神・神経医療研究センター（NCNP）に覚せい剤使用障害の診断で
通院している患者様（初診の方も再診の方も含みます）
- 2) 過去1年以内に覚せい剤の使用があること
- 3) 同意取得時において20歳以上であること

*上記以外にも、担当医師が患者さまに参加いただくことができるかどうかを、
診察や検査の結果から判断します。

*研究期間中は、診察や検査（尿、血液）、fMRI撮像、
アンケート調査を受けていただきます。

お問い合わせ窓口

研究責任者：松本俊彦

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長

Tel：042-341-2712（ext.5697）

（木曜日：9：00－17：00）

